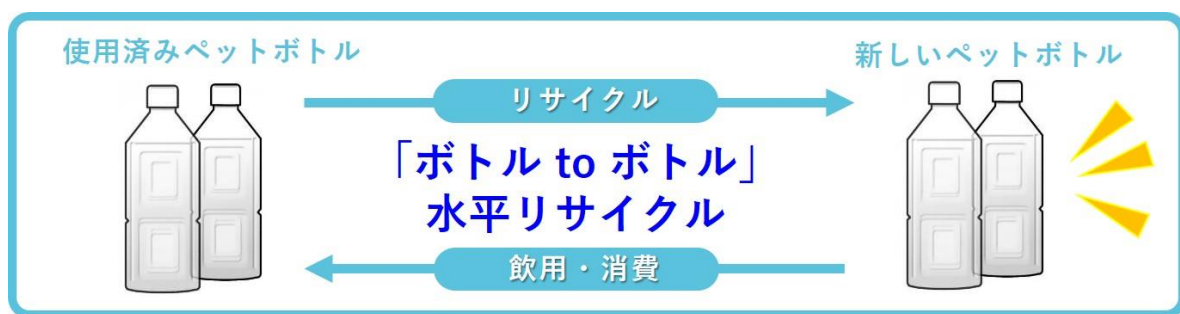


**大容量モデルのペットボトル回収機「ボトルスカッシュ (DRV-200)」を
関東初設置！ ヤオコー川越藤間店で12月1日より稼働開始
～ ヤオコーとサントリーの「ボトル to ボトル」水平リサイクルに活用 ～**

株式会社寺岡精工（本社：東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔）の大容量モデルのペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ (DRV-200)」が、株式会社ヤオコー（本社：埼玉県川越市/代表取締役社長 川野澄人）が運営するスーパーマーケット「ヤオコー 川越藤間店」へ設置され、12月1日（木）より稼働を開始しました。同製品においては関東地方で初の設置となります。

今後、ヤオコーとサントリー食品インターナショナル株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長 齋藤和弘）が進める「ボトル to ボトル」の水平リサイクルの取り組みに使用され、回収されたボトルはサントリーの飲料用ペットボトルとして再生・使用されます。



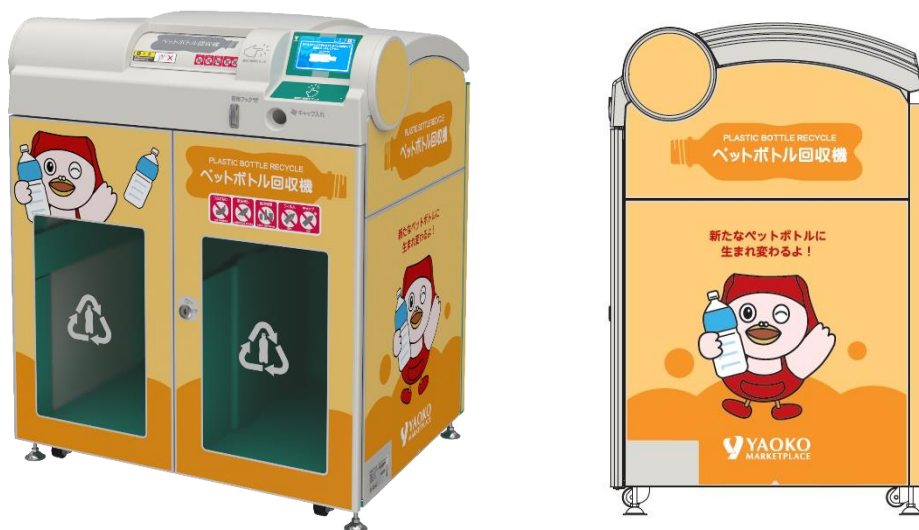
■ TERAOKAの「ボトルスカッシュ」は、綺麗なペットボトルのみを分別回収

ペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ」シリーズは、ペットボトルの分別回収を消費者の日常に取り入れると共に、より高い資源価値をもつリサイクル素材の社会循環に貢献します。ペットボトル以外の缶や瓶、そして内容物が残っているボトルを自動検知し、回収を受けつけません。水平リサイクルに必要な資源として、ペットボトルのみを確実に回収します。また、ボトルを約 1/3 に圧縮減容することで、リサイクル過程での輸送にかかる CO₂ を削減します。

今回設置された「ボトルスカッシュ (DRV-200)」は、本年7月に発売した大容量モデル機です。従来機で難しかったラベル・キャップがついたままのボトルの選別もできるようになり、より綺麗なペットボトルを回収し、効率の良い資源循環に貢献します。従来機 (DRV-100T) の2.5倍の700本を収納する大容量収納能力を備えながら、回収庫は350本ずつ二つに分け、一回の袋交換が重すぎないように作業者の負担を考慮して開発しました。

■ 子どもから大人まで、リサイクルの入り口に

本製品は、ボトルの投入口を子どもでも入れることができる高さ（約120cm）に設計。またヤオコーのマスコットキャラクター「ヤッポー」のデザインラッピングを回収機に施し、誰もが親しみやすく参加できる「リサイクルの入り口」としての役割を担い、資源循環を推進します。



▲ヤオコーに設置される「ボトルスカッシュ (DRV-200)」

当社は、資源価値を高めるペットボトル回収機でリサイクルに参加できる機会を拡大し、消費者のリサイクル意識の向上および行動変容を促進し、今後も資源循環・脱炭素化社会の両面から持続可能な社会実現に向けた取り組みをサポートしてまいります。

■ 製品概要

製品名： ペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ」
 型番： DRV-200
 収容量： ペットボトル約 700 本 ※500ml ボトル換算 (2L まで対応)
 製品 URL：<https://www.teraokaseiko.com/jp/products/PRD00435/>
 製品動画：<https://www.youtube.com/watch?v=xjEr790ft2Q>

【株式会社寺岡精工 会社概要】

- 本社所在地：東京都大田区久が原 5-13-12
- 創業：1925 年 (寺岡式敏感自動バネ秤開発)
- 代表者：代表取締役会長 寺岡和治、代表取締役社長 山本宏輔
- 資本金：1 億円
- 従業員数：連結 3,742 名 (2021 年度)
- 主な事業：流通小売、食品製造・加工、製造・物流、飲食・専門店の 4 事業分野およびサポートサービス、クラウドサービスによる精密機器等の開発・製造・販売・保守
- 国内営業・サービス拠点：141 拠点
- HP URL：<https://www.teraokaseiko.com/>



since 1925

掲載画像ダウンロード URL：<https://bit.ly/3FdgnE6> (有効期間：12月2日～12月31日)

■ 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 グローバルマーケティングコミュニケーションズ 上山・鈴木
 TEL：03-3752-2131 FAX：03-3752-5562 Mail：c.ueyama@digi.jp

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 お客さま窓口 TEL：0120-37-5270 (平日 9:30-17:30)